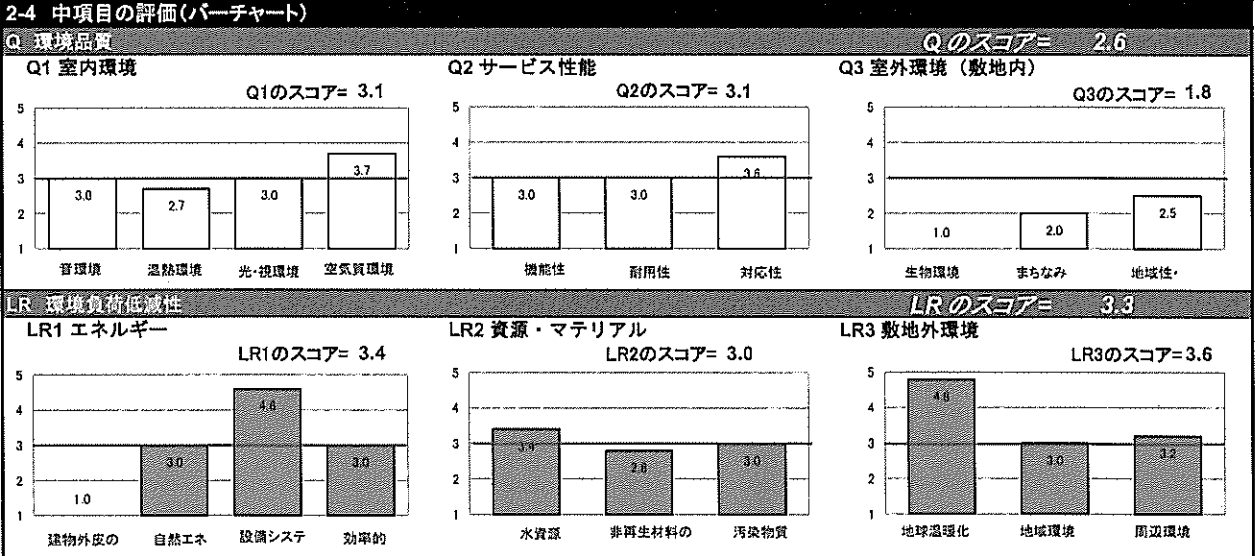
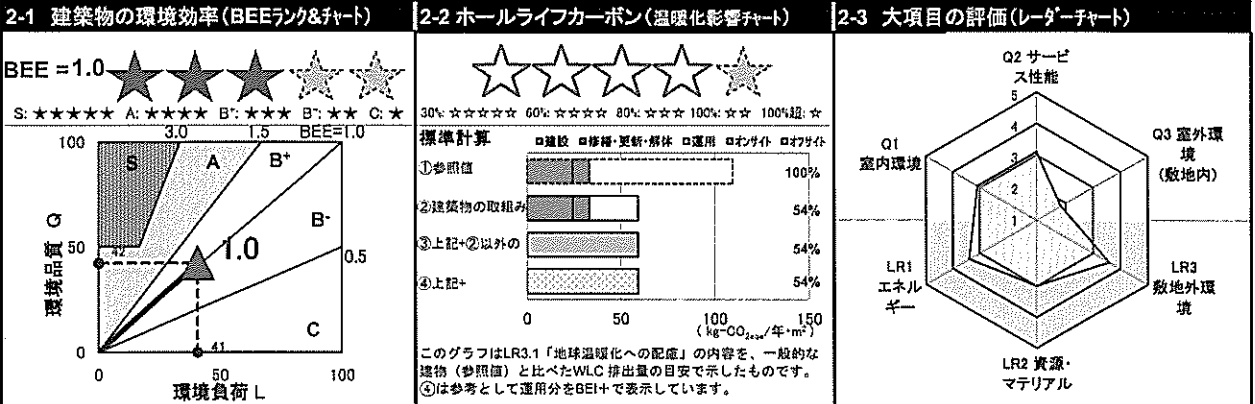


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)上新電機 京都八幡店 新築	階数		
建設地	京都府八幡市八幡南山87番地の一	構造		
用途地域	準住居・第1種中高層住居専用地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	物販店、工場	評価の段階		
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日		
敷地面積	6,046 m ²	作成者		
建築面積	3,581 m ²	確認日		
延床面積	6,913 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 敷地内に適切な量の駐車・駐輪スペースを設けている。駐車場の導入路は複数設けるなど周辺道路の渋滞緩和に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 内装材は全てF☆☆☆☆を使用し室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 売り場の天井高3.98mとし、開放的な空間としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を設けた。
LR1 エネルギー 太陽光パネルの設置による太陽光の利用を計画した。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を採用した。	LR3 敷地外環境 光害対策チェックリストの配慮事項の過半を満たし広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

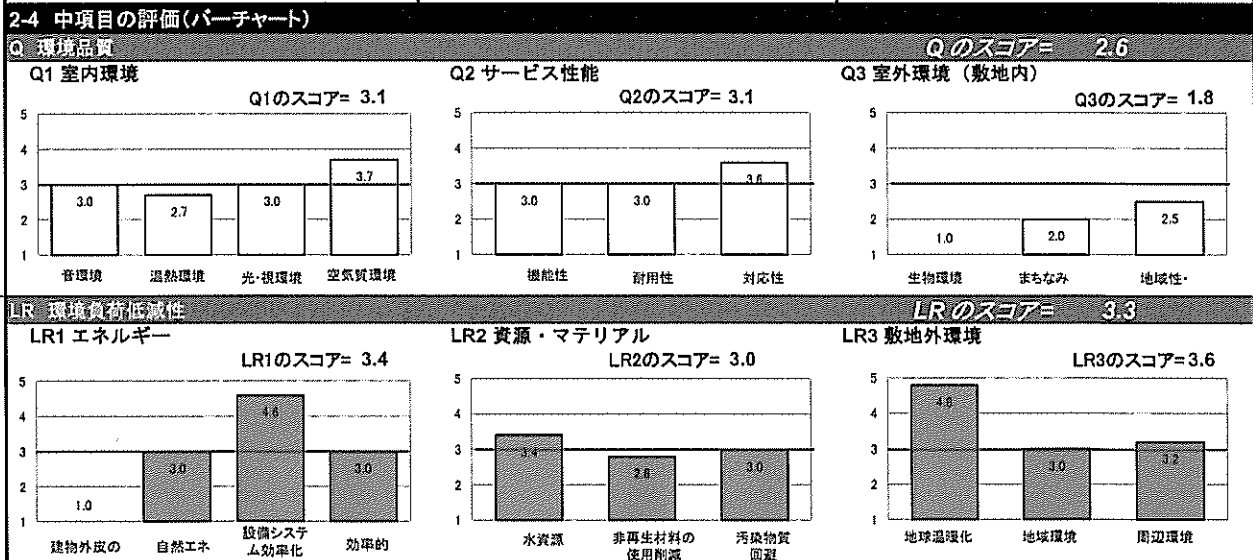
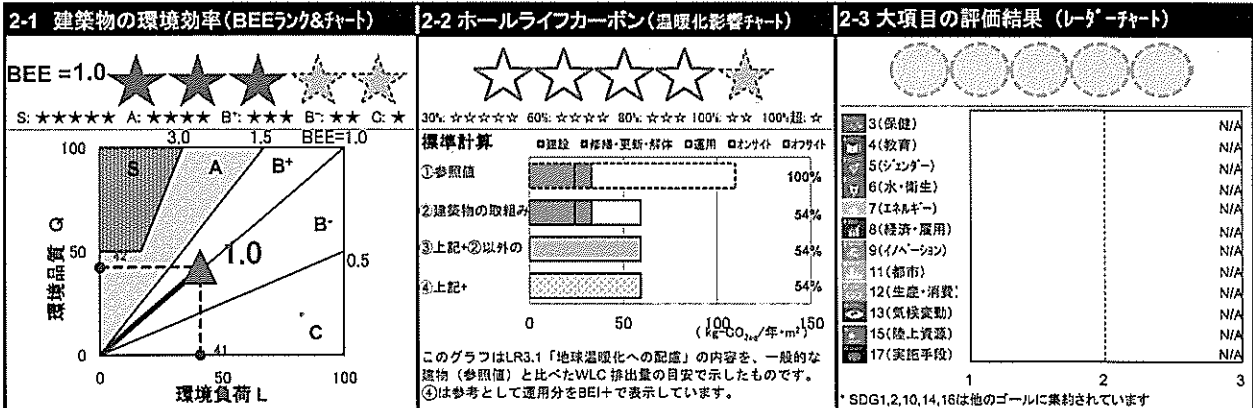
CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)上新電機 京都八幡店 新築	階数	地上2F
建設地	京都府八幡市八幡南山87番地の一	構造	S造
用途地域	準住居・第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2026年5月15日
敷地面積	6,046 m ²	作成者	株式会社日企設計 森田俊和
建築面積	3,581 m ²	確認日	2026年5月15日
延床面積	6,913 m ²	確認者	株式会社日企設計 森田俊和

外観パース等

図を貼り付けるときは
ネットの線を削除してください

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地内に適切な量の駐車・駐輪スペースを設けている。駐車場の導入路は複数設けるなど周辺道路の渋滞緩和に配慮している。		特になし。
Q1 室内環境 内装材は全てF★★★★を使用し室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 売り場の天井高3.98mとし、開放的な空間としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を設けた。
LR1 エネルギー 太陽光パネルの設置による太陽光の利用を計画した。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を採用した。	LR3 敷地外環境 光害対策チェックリストの配慮事項の過半を満たし広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される